

ファイナルレポート

国際電子部品・製造機器専門見本市
 2025年3月26日～28日
 中国・上海新国際見本市会場(SNIEC)

2025年4月1日

productronica China 2025:
 インテリジェント・マニュファクチャリングを促進させるテクノロジーを結集

Summary

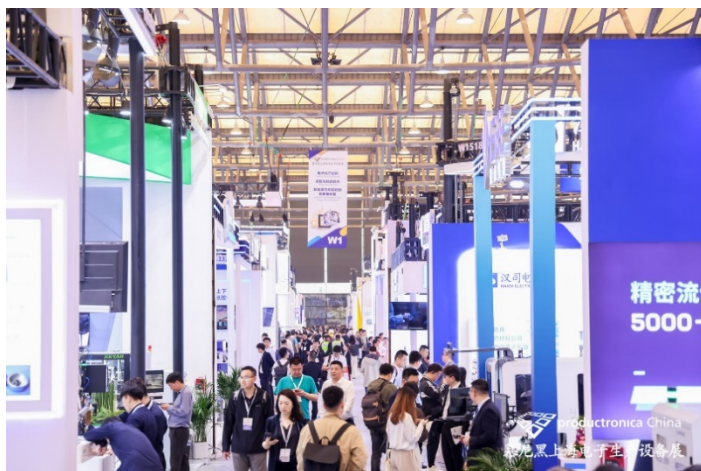
- 1,101社が出展し、VisionChina Shanghai 2025と合わせて、72,417人が来場
- 展示面積は約10万平方メートル
- エレクトロニック・インテリジェント・マニュファクチャリング技術のイノベーションを探求する8つのテーマ別フォーラム



Facts & Data

会 期	2025年3月26日(水)～28日(金) 9時～17時(最終日のみ16時まで)
会 場	中国・上海新国際見本市会場(SNIEC)
主 催	Messe München GmbH – メッセ・ミュンヘン Messe Muenchen Shanghai Co., Ltd. – メッセ・ミュンヘン上海
規 模	100,000 m ² (2024年:75,000 m ²)
出 展 企 業	1,101社 (2024年:904社)
来 場 者 総 数	72,417人 (2024年:60,657人)
主な出展品と 出展技術	<productronicaChina> SMT、はんだ付け技術、検査・測定技術・品質保証、製造サブシステム、製造補給・マテリアルフロー技術、プリント基板・回路基材装置製造、ケーブル加工技術、コイル製品、受託製造サービス(EMS)、オーガニック/プリント・エレクトロニクス、部品製造、各種オペレーティング機器、関連サービス
出展日本企業 (現法出展など含む)	アポロ精工(株)、花王(株)、オムロン(株)、オリエンタルモーター(株)、加賀電子(株)、(株)キーエンス、黒田精工(株)、(株)サンエイテック、山洋電気(株)、(株)シマデン、(株)ジャパニクス、JUKI(株)、信越化学工業(株)、(株)シンキー、新明和工業(株)、(株)進和、(株)タムラ製作所、(株)東京ウエルズ、鍋屋バイテック(株)、日本オートマチックマシン(株)、(株)日本スペリア社、白光(株)、日置電機(株)、(株)FUJI、富士高分子工業(株)、松山商事(株)、マランツエレクトロニクス(株)、三木プーリ(株)、武蔵エンジニアリング(株)、ヤマハ発動機(株) ほか(50音順)
専 用 U R L	www.productronicachina.com.cn/en/ (英語)

2025年3月28日、3日間にわたって開催されたproductronica China 2025とVisionChina Shanghai 2025は、延べ72,417人の業界関係者を集め、成功裏に閉幕した。productronica Chinaは規模の拡大を続けており、今回約10万平方メートルの見本市会場に1,101社が出展し、エレクトロニック・インテリジェント・マニュファクチャリングにおける新製品や最先端技術を紹介した。



productronica Chinaは、世界の電子機器製造分野における毎年恒例の業界イベントとして、業界チェーン全体のリソースを統合することによって、グローバルな技術革新の成果を紹介する専門的なプラットフォームである。今回の見本市で特別に立ち上げられた新規取り組みテーマは、新製品の発表に焦点が当てられており、企業が、最先端技術の成果の商業化を、市場機会を捉えて加速させられるように独自の技術リリース・プラットフォームを構築している。

メッセ・ミュンヘンのCEOラインハルト・ファイファーは、productronica China 2025が産業価値創造に果たした役割を高く評価し、「中国は、インテリジェント・マニュファクチャリングを応用した技術革新の世界的な実験場になっているだけでなく、新たな産業エコシステムを確立することによって、国際協力の戦略的拠点にもなっている」と述べている。

メッセ・ミュンヘン上海有限公司のCFO兼副ゼネラルマネージャーJan Rohdelは、この見本市について、「当社は常に、最先端の技術を紹介する実用的なステージを作ることに注力してきた。この見本市で紹介されるインテリジェント・マニュファクチャリング・ソリューションは、電子機器製造における効率基準とコラボレーションモデルの定義を最適化している」と述べている。

インテリジェントなアップグレードが進行中:

SMT技術がエレクトロニック・インテリジェント・マニュファクチャリングの新たな章を開く

productronica China 2025では、株式会社FUJI、Europlacer社、Mycronic社、Kurtz Ersa社、Rehm社、HELER社、ITW EAE社など、SMT生産ラインの様々な領域に関わる有名な企業やブランドが、スマートファクトリー・ソリューションを、来場者に実演を通して徹底的に紹介した。また、Elesa+GanterグループやAGA社などのエレクトロニック・アセンブリ企業が共同でソリューションを紹介した。シナリオベースの方法で、中国の電子製造業界により多くの技術的ソリューションが提示され、業界関係者の革新的精神を刺激した。

さらに、Europlacer社、Kurtz Ersa社、株式会社KEYENCE、JUKI株式会社、VISCOS社などが、ホール E3 内に設けられたスマートファクトリーのコア展示エリアに出展した。そして、そこに準備してある設備の全ラインを稼働させて、蛇年のマスコットを実際に製造する工程を紹介した。それを通して、見本市来場者は製造ラインの完全な技術プロセスを直接体験することができた。

インテリジェント・マニュファクチャリングのアップグレード:

ワイヤーハーネス加工設備は高精度と柔軟性の新時代へ

ワイヤーハーネス業界は、ワイヤーハーネスを、単なる『機能的な接続』からより高度な『知能を持つ神経網』へと役割を進化させている。productronica China 2025では、Komax社、Schleuniger社、株式会社JAM、新明和工業株式会社、そのほか多くの優れた業界企業が集まり、ワイヤーハーネス分野のユー

ザーに、よりのを絞ったアプリケーション・ソリューションを提供した。これらのソリューションは、ワイヤーハーネスのユーザーが、デジタル化、インテリジェント化、フレキシブル処理を実現し、生産効率を高めて、さらなる発展機会を創出するよう支援することを目的としている。

インテリジェント・マニュファクチャリング・エコシステムを再構築し、フレキシブル・オートメーションの新時代を切り開く

5Gとインダストリアル・インターネットの緊密な連携によって、インテリジェント生産ラインは、新エネルギー車などの新興領域向けにカスタマイズされたインテリジェント・マニュファクチャリング・ソリューションの提供が可能となった。



productronica China 2025は、多くのインダストリアル・オートメーション企業を集め、エレクトロニック・マニュファクチャリングのスマート工場向けに、非常に多様なソリューションを提供した。オムロン株式会社、SIASUN DUCO社、ELITE ROBOTS社などの国内外の協働ロボットメーカーと、Passion Intelligent社、KinTN Intelligent社、Guomai Intelligent社など、国内のインテリジェント倉庫会社が、それぞれのソリューションを集中的に展示した。さらに、HIWIN社(台湾)、山洋電気株式会社、Beckhoff社、Pepperl+Fuchsグループなど、産業用制御業界の優れた企業は、電子機器製造業界により多くの選択肢と可能性を提供し、産業チェーン全体の改善と最適化を進めている。

小型化・多様化への要求の高まりが、ディスペンシング技術と化学材料の急速な革新を促す

インダストリー4.0の進展に伴い、ディスペンシング産業やインジェクション産業はインテリジェントな変革を受け入れつつある。高精度自動ディスペンシング装置は、複雑な電子部品や精密組立品の製造ニーズに応える新たな市場の注目株として台頭している。productronica China 2025は、Nordson EFD社、武蔵エンジニアリング株式会社などのディスペンシング・グルーインジェクション会社を集め、ディスペンシング技術を展示・交流するためのより包括的なプラットフォームを開設した。さらに、Dow社、Henkel社など、化学材料業界の優良企業がディスペンシングおよびグルーインジェクション、化学材料、洗浄装置などに関する新技術や新製品を会場に展示し、3C、自動車、医療用途のエレクトロニクス業界の顧客に、包括的で革新的なソリューションを豊富に提供した。

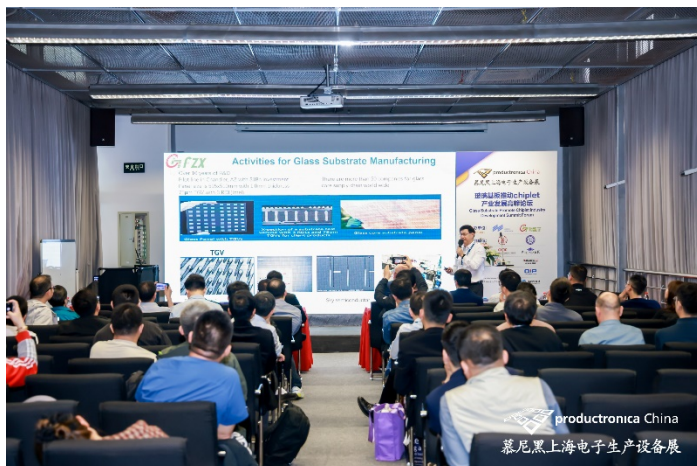
インテリジェント・テストと高精度測定統合的イノベーションがエレクトロニクス・インテリジェント・マニュファクチャリングの新たなパラダイムを推進

5G、AIoT、新エネルギー自動車産業の爆発的な成長に伴い、テスト・計測業界はインテリジェンスと高精度への変革を加速している。productronica China 2025のテスト・計測・品質保証ゾーンには、Koh Young社、JUTZE社、TRI社など、数多くの優れた企業が出展した。このゾーンでは、生産効率と製品品質を向上させ、企業の工場での柔軟な生産の促進を図って、SPI(Solder Paste Inspection)、AOI(Automated Optical Inspection)ほか、生産ライン用検査装置と電子組立技術が紹介されている。

さらに、マイクロLED/ミニLEDディスプレイチップ、スマートフォン用マイクロコンポーネント、MEMSデバイス、RFデバイス、マイクロ波デバイス、ハイブリッド回路の応用分野における総合的な機器とソリューションを提供するサプライヤーゾーンに焦点を当てたマイクロアセンブリ科学技術エリアが開設されている。

8つのフォーラムが独自の知見を競い合って、エレクトロニック・インテリジェント・マニュファクチャリングの技術革新を探求

見本市と並行して、8つの業界フォーラムが開催され、半導体スマート・マニュファクチャリング、フレキシブル・プリントド・エレクトロニクス、NEVs (New Energy Vehicles) と3電気技術、インテリジェント・コネク



テッド車両配線、電子接着剤など、ホットな話題が取り上げられた。この3日間の見本市は、業界の知識の貴重な情報源であり、深い洞察であることが明確となった。

productronica China 2025は、先ほど閉幕。この見本市は、業界に革新的なプラットフォームを提供するだけでなく、国内外における企業間の交流と協業を促進している。来年も皆さんと再会し、インテリジェント製造の更なる可能性を共に探求できることを楽しみにしている。

次回の productronica China は 2026 年 3 月 25 日から 27 日まで上海新国際博覧センター (SNIEC) で開催される。

詳細情報ならびに写真は、専用ホームページまで: www.productronicachina.com.cn/en/ (英語)

資料請求、各種お問合せ先:メッセ・ミュンヘン 日本代表部

株式会社メッセ・ミュンヘン・ジャパン

〒105-0001 東京都港区虎ノ門3丁目20-3 ノアーズアーク虎ノ門5階

Tel.: 03-6402-4583 Fax: 03-6402-4584 e-mail: info@messe-muenchen.jp

URL: www.messe-muenchen.jp (日本語) www.messe-muenchen.de (英語/ドイツ語)